

## ビレッジホームズ サクラメント アメリカ

1994年視察

エコ団地ビレッジホームズはカリフォルニアの州都サクラメントから南西に26km、人口4万6千人のデービス市の一面にある。60エーカーの土地に約240戸の小さな町。

パッシブソーラー団地として知られるが、この辺は寒さより夏の酷暑が問題の気候で、パッシブを勉強するには物足りない。そんな技術的なことより十数年を経て、しっかりとエコ団地の雰囲気が作られていることを知る方に価値がある。

- ・落葉樹が植えられて実をつけ、住人は自由にとって食べることができる。庭自体が家庭菜園の状態、この町の設計をし、この町に住むコルベット夫妻（88～91年ビレッジホームズの市長）は家庭菜園でほとんどの野菜を自給している。
  - ・元々平地だったが土を入れて傾斜地をつくった。
  - ・クルドサック（袋小路）でプライベート感を高めた。
  - ・歩車道を分離して安全に歩いたり、サイクリングできるようにした。
  - ・道路には大きな木が枝を広げてアスファルト道路を熱しないように配慮されている。排水溝はなくて砂利道が雨水を地面に浸透させていく。
- 完成当時評価は低かったが、エコ意識の高まりと共に高く評価され、不動産としても大幅な価値の増大を招いているという。



アメリカの住宅団地と思えない雑然とした雰囲気だが、随所に自然と共生する装置をみつけることができる。



窓の裏にウオータータンクがみえる。そのタンクの水を日射が暖め、触れば少し温もりが感じられる程度の熱を夜間に室内に放出して暖房の補助にする。95%の家に太陽熱温水器がとりつけられ夏は100%冬は80%の給湯を賄っている。



日本のようにU字溝によって排水するのではなく砂利道が雨水を地面に浸透させる。子供達はそれをみて水の行方を知り、木になった実でオレンジがどこから生まれ育っていくのかを知る。